



# 自律・創造

No.6

平成27年  
7月21日(火)

## 「課題対応能力」の向上を目指して ～夏休み前集会（校長あいさつ）～



現在の複雑な高度情報社会で社会生活を送るために必要とされるたくさんの力の中で、本校では「今直面している課題は何か」「それをどのような方法で解決するか」を考え、実行する力を取り上げ、その能力向上に取り組めます。具体的には、授業の内容を自分が「わかる」ための、オリジナルなノートづくりの工夫に取り組んでもらいます。「馬に水を飲ませるために川まで連れて行くことはできるが、水を飲ませることはできない」と言われています。みなさん一人一人の意志にかかっています。先生方は、みなさんがオリジナルなノートづくりの工夫に取り組むことができるような授業のしかたの工夫に取り組めます。みなさんはこの夏休みに、さっそくオリジナルなノートづくりに取り組み、学習再開に備えてください。そして、自分の意志で、授業がある日々よりも充実した生活を送り、有意義なものにしてください。みなさんの個性的な頑張りに期待しています。

## 「いじめ」絶対に許しません～大館高校いじめ防止の取り組み～

大館高校は職員による「いじめ防止対策委員会」を随時開催し、いじめの「未然防止、早期発見、早期解決」に向けて活動しています。現在の文部科学省による「いじめ」の定義は次のとおりとなっています。

**「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」**

**とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。**

※「一定の人間関係のある者」とは、学校の内外を問わず、例えば、同じ学校・学級や部活動の者、当該児童生徒が関わっている仲間や集団など、当該児童生徒と何らかの人間関係のある者を指す。 ※「攻撃」とは、「仲間はずれ」や「集団による無視」など、直接的に関わるものではないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含む。 ※「物理的な攻撃」とは、身体的な攻撃のほか、金品をたかられたり、隠されたりすることなどを意味する。

この定義を読んで、「自分はいじめを受けている。」「あの人の行っている行為はいじめだ。」などと思う場合は、すぐに職員に相談してください。被害者の保護を第一に考えつつ、いじめの解消を目的として直ちに対処します。今回は大館高校の「学校いじめ防止等のための基本方針」を生徒を通じて保護者の皆様にお届けいたします。各家庭におかれましてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# 大館高校のキャリア教育

職業に対する視野を広げることと、具体的な進路選択についての理解を深めることを目的に、二つの進路行事を行いました。学習の内容と生徒の感想を紹介します。

## ① 「就職ガイダンス」 7月3日（金）

ハローワーク大館



講師の今野正喜氏

- 1 働くことの意義……収入確保、社会参加
- 2 社会の現状を知る……新規高卒者内定状況、初任給
- 3 企業の特徴……異年齢組織集団、ルールと上司
- 4 企業が求める人材……目標を持って努力できる人
- 5 社会人としての基礎力と学校生活で鍛える力

### 感想

▼挨拶をする、時間を守ることが大事なことが改めて分かった。▼ハウレンソウ(報告・連絡・相談)が社会人の常識と分かった。▼フリーターと正社員の生涯収入が全然違うことに驚いた。▼良い職場で働きたいとは思わないが、せめて良い上司のもとで働きたい。自分の将来が楽しみだ。▼自分を知ることが仕事探しの第一歩だ。

## ② 「進学研究」 7月10日（金）

秋田職業能力開発短期大学校

### ①秋田職業能力開発短期大学校（以下職能短大）の説明

- ・文部科学省以外が所管する大学を大学校という。(防衛大学校、気象大学校など)
- ・職能短大では物作り実践技術を学ぶ。5年連続進路決定率100%である。

### ②授業見学（生産技術科、電子情報技術科、住居環境科）

### ③職業適性診断（キャリアインサイト）

### 感想

▼職能短大に入ろうと思っていたのでさらに興味を持った。▼キャリアインサイトは2回目だったが、結果が大違いで、自分も成長したんだなと思った。▼3Dプリンタを使用しているものづくりやロボットの操作など、普段見たことのない光景はとても興味深いものだった。こういう経験を増やして、自分の本当にやりたい仕事を見つけないかと思った。



電子情報技術科の見学